

●八王子城跡を訪ねる

自然と親しむ部会の「まち歩き」は、10月15日（土）、八王子市にある、八王子城跡を訪ねて歩いてみた。

八王子城は、戦国時代の小田原の北条氏の領地、関東を護るため、北条氏照（うじてる）によって築かれた山城である。天下統一の最後の戦いとして、豊臣秀吉が小田原の北条氏に挑戦した戦である。戦は、城主氏照が手勢を引き連れて、小田原城に籠もったため、残った2,000の兵で迎えたが、北陸勢（前田隊、上杉隊、真田隊）50,000の猛攻を受け、約18時間で落城したと伝えられる。（天正18年・西暦1590年）

整備されたとはいえ山城だけに、山道は急峻。攻め上る兵士たちの難儀を味わいながらのまち歩き。

頂上からの眺めは、八王子、昭島、立川まで見通せ、天気良ければ、都心まで見晴らせるという。

今回の「まち歩き」参加者8名。脱落者もなく、無事生還。疲れしました。

(写真・取材 / 自然と親しむ部会)



▲ 急峻な山道を声もなく黙々と歩く



▲ 頂上近くからの素晴らしい眺め。見えている山々を想像してください。



▲ 参加者8名。脱落者もなく、無事生還。疲れしました。

●玉川小学校で防災訓練



▲ 89名の 各自治会の参加者



▲ 中野 重男 市民会議 会長

あきしま・街づくり市民会議・なかがみ 防犯防災部会と地域活動部会 主催による 11 回目の防災訓練が 11 月 5 日（土）に玉川小学校 校庭、体育館にて実施された。

秋晴れの好天に恵まれ 絶好の訓練日和の中、地域の皆さんとの防災意識向上を図るため、自治会員並びに一般の方々の参加を交えて 89 名の参加で行われました。また今回は訓練内容に避難所体験の一部を取り入れさらに、障害を持つ方の車椅子での参加もあり意義ある訓練となった。

訓練に先立ち、街づくり市民会議、中野 重男会長・昭島消防署昭和出張所、八鍬所長・玉川小学校、岡部 操 校長より挨拶があり、訓練参加者は自治会の防災旗毎に整列し 4 つの班に編成され、それぞれの班に誘導係を配置し五つの訓練コースに従い開始された。

消火器取扱いには家族と一緒に子供も大きな声を出し放水を体験。スタンドパイプでは消火栓を使用せずに消防自動車のタンクより放水訓練をした。パーテーションパネルの体験は小町高市第5ブロック長による体育館での取り扱い操作の説明は見事だった、車椅子でもパーテーションに実際にはいり感触を確認されていた。

裏面に続く